

ふ く い ん し ん ぶ ん
福音新聞

NO. 6



発行：犬山恵み中心教会 副牧師 矢下 充啓 〒484-0061 犬山市前原向屋敷95-135 TEL 0568-55-5906

『神は言われます。「わたしは、恵みの時にあなたに答え、救いの日にあなたを助けた。」確かに、今は恵みの時、今は救いの日です。』（聖書）



あなたがたは、
救われていますか？

昭和29年9月26日の夜、
台風15号の直撃をうけて、洞
爺丸が函館沖で転覆し、約10
00人が死亡、行方不明になり
ました。日本で起こった最も大
きな海難事故でした。死亡した
犠牲者の中にアルフレッド・ス
トーン、デイン・リーパーと
いう宣教師がいました。彼らは
救命具のひもが切れたと言って
泣いていた女性たちに自分の救
命具を渡し、「あなたがたは、
救われていますか？」と尋ねま
した。すると彼女たちは「私は
助かりたいの」と答えました。
そして宣教師たちは「私たちは
救われています。けれども、

あなた方は救われていませんね。ですから、助かったら、必ず教会へ行つて、救われてください。」と告げました。宣教師たちは、自分たちが乗るべき救命ボートに彼女たちを乗せました。その後、船は転覆し、水が船内に流れ込み乗客の頭から水が覆つてきました。救命ボートに乗り移つた人々でさえ、助

からない人が出ましたが、彼女たちは助かりました。しかし、宣教師たちは助からなかつた多くの人々と共に、海の中に沈んでいきました。その後、彼女たちは宣教師に言われた通り、教会を探し、救いを受け入れました。そして彼女たちが証したことにより、この出来事は明るみに出しました。

救われなければならぬ理由

ストーン宣教師たちは「私たちは救われている」と語りましたが、その時点で海難事故による死の危険から救出されていませんでした。では彼らの「救い」

とは何を意味していたのでしょうか？それは聖書に記されてある、罪人に対するさばきからの救いについてです。

神の御言葉である聖書には、『人間には、一度死ぬことと、死後にさばきを受けることが定まっている』と記されてあります。全ての人は死後、神の御前においてさばかれなければならぬ罪人であり、さばきの場所である地獄に投げ込まれ、そこで永遠に苦しまなければならぬのです。神は人間の心の中を全てご存知です。『また言われた。「人から出るもの、これが、人を汚すのです。内側から、すなわち、人の心から出て来るものは、悪い考え、不品行、盗み、殺人、姦淫、貪欲、よこしま、欺き、好色、ねたみ、そしり、高ぶり、愚かさであり、これらの悪はみな、内側から出て、人を汚すのです。』(新約聖書)そして人の犯している最も大きな罪は『彼ら

の目の前には、神に対する恐れがない。』(新約聖書)であり、神のご存在を全く無視し、軽んじていることで

す。真の神は確かにご存在されます。そして誰にも、その御方のご存在を否定することは出来ないのです。何故ならば、この御方の創造されたものによつて誰でもはつきりとわかるからです。『天は神の栄光を語り告げ、大空は御手のわざを告げ知らせる。』天を創造した方、すなわち神、地を形造り、これを仕上げた方、すなわちこれを堅く立てた方これを茫漠としたものに創造せず、人の住みかたにこれを形造つた方、まことに、この【主】がこう仰せられる。「わたしが【主】である。ほかにはいない。』(旧約聖書)『神の、目に見えない本性、すなわち神の永遠の力と神性は、世界の創造された時からこのかた、被造物(人間)によつて知られ、はつきりと認め

られるのであって、彼らに弁解の余地はないのです。』(新約聖書)

もし、このまま神のご存在を否定し続け、さばかれるべき罪人であることを認めないなら、聖書に記されてある永遠の地獄に、投げ込まなければならないかもしれません。ですからご自分が救われなければならぬ罪人であることを認めて頂きたいのです。では、救われるためには、どうしたら良いのでしょうか？

イエス・キリストによる救い

ストーン宣教師たちは女性たちに「教会に行つて、救われてください。」と勧めましたが、それは教会において、救いについて語られているからです。その救いとは、神の御子であられる、イエス・キリストによるものです。キリストは今から約2000年前、人となられてこの世に下つて来られました。キリストは私たちの犯した全ての罪を赦すために、身代わりとなり、十字架に架かられ、

さばきをその身に受けられました。そして死後三日目に、葬られた墓より復活され、ご自身が真の救い主であられることを示されました。このキリストを、自分の救い主として信じ受け入れるなら、誰でも罪を赦され、永遠の天の御国に行ける方とされるのです。復活を目撃した弟子たちは命を懸けてイエス・キリストを宣べ伝えました。事実、キリストを信じた信仰者たちの多くが殉教の死を受け入れました。それは彼らが救われていて、死後のさばきを受けることなく、永遠の天の御国に入れることを確信していたからです。

神が全てのの人に

求めておられること

もうすぐクリスマスシーズンです。クリスマスの意味は「キリストの祭り」であり、イエス・キリストのご誕生をお祝いする日なのです。それは世界中で祝われています。何故なら、キリストが全て

の人の救い主としてご誕生されたからです。その救い主であられるキリストを宣べ伝えるためにストーン宣教師たちは日本に来ました。そして海難事故に遭い、滅びに向かっている人々の救いを願いつつ、この世を去って行きました。彼ら宣教師たちに、人が救われることの願いを与えられたのは神であり、そしてその御方こそが最も求めておられるのです。『神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。』(新約聖書)

神は私たちに救いをお与えになるために、最愛なるひとり子、イエス・キリストをこの世に送つて下さったのです。どうかイエス・

キリストを信じ受け入れ救われてください。ますように、お勧めいたします。



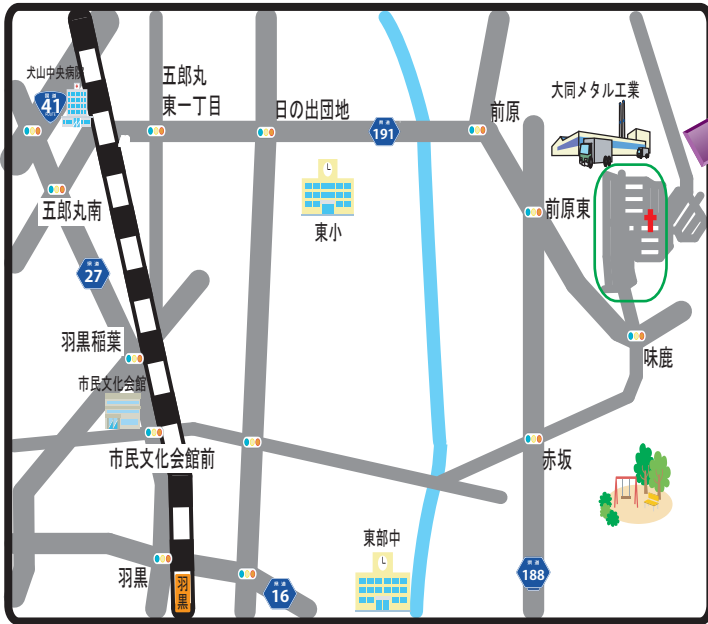
☆ 特別伝道集会のお知らせ ☆

12月20日(土)～12月22日(月)

豊川市・豊川キリスト恵み教会 畑川洋一郎牧師

第1回	20(土)	午後 2:30～
第2回	20(土)	午後 7:30～
第3回	21(日)	午前 10:30～
第4回	21(日)	午後 2:00～
第5回	22(月)	午前 10:30～

各回託児を用意しています。お子様がおられる方も遠慮なくお越しください。また、参加費などは一切必要ありません。駐車場もあります。



定例集会案内

お気軽にお越し下さい。

◎日曜日	
教会学校	AM 9:30
礼拝	AM10:30
聖書の学び	PM 1:00
◎水曜日	
祈り会	PM 7:30
◎木曜日	
婦人会	AM10:30
◎土曜日	
聖書の学び	PM3:30

犬山恵みキリスト教会

牧師 畑川 洋一郎 副牧師 矢下 充啓

〒484-0061 犬山市前原向屋敷95-135

TEL (0568)55-5906

※ 当教会は、エホバの証人（ものみの塔）、統一協会（原理研）、末日聖徒キリスト教会（モルモン教）などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。